

消防団を中核とした 地域防災力の充実強化を図る (全国の市町村)

事業者：消防庁

災害時に効果を発揮した3か年緊急対策の事例

【補助対象資機材（イメージ）】



AED



油圧切断機



エンジンカッター



チェーンソー



ジャッキ



トランシーバー
(デジタル簡易無線機を含む)



発電機



投光器



救命ボート、救命胴衣等



排水ポンプ



防護衣等



対策名：No.49 地域防災力の中核を担う消防団に関する緊急対策

事業名：消防団救助能力向上資機材緊急整備事業

- ポイント**
- 資機材の配備を促進させる緊急対策を実施
 - 消防団の災害対応能力の向上を図る

地域の概要・課題

平成30年7月豪雨等における消防団の救助活動において、災害規模が甚大かつ広範囲にわたったことから、救助用資機材の不足が課題となりました。

事業の概要

消防団の災害対応能力の向上を図るため、資機材の配備を促進させる緊急対策を実施しました。

具体的には、上記の補助対象資機材を整備する事業について、補助金を交付しました（補助率1/3）。

効果

令和2年7月豪雨では、福岡県久留米市において、補助金を活用して整備したトランシーバーや救命胴衣を活用し、130名の救助活動を行いました。また、山形県や福岡県の市町村において、補助金により整備したポンプを用いて排水作業を行うなど、各地で消防団の救助能力の向上が見られました。

I-1 大規模な浸水、土砂災害、地震・津波等による被害の防止・最小化

I-2 救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保

I-3 避難行動に必要な情報等の確保